昭和二年九月十九日
第三種郵便物認可

昭和六年十一月廿五日　福總新聞　第百二號　（一）

# 福總新聞

（毎月十日廿五日）二回
定價一枚十[illegible]ヶ月廿錢（郵稅五厘）
廣告料　雜報欄五十錢　場所指定十錢增
發行兼編輯印刷人　市島範三
福島縣平町研町十四
發行所　福總新聞社

# 豐間築港請負に絡まり
# 奇怪極まる醜狀暴露さる
## 漁業組合幹部等の
## 橫暴に區民一同激昂

豐間漁業組合は嚮きに會計內容に不正の事實あるを認め組合員及幹部は將來弊害と會計**內容の革**正を計る爲めに猛然起つて當時の組合長遠藤藤之亟氏を糾彈し遂に平區裁判所檢事局の發動となつて、公明なる裁斷に依つて、同漁業組合は全く泰山の安きに置かれるに至つたのである、而して當時組合改革の急先鋒として**日夜組合**改善の爲めに東奔西走した馬目常吉氏は擧げられて現に同組合長となり豐間切つての智慧者とし、又策謀家として知られてゐる遠藤惣三郎氏は筆頭理事として後の組合長として擬せられてゐる實狀にある、馬目、遠藤兩氏と共に組合改革運動に參畫して努力した**鈴木繁松**氏は會計として各々組合幹部としての重要の位置を占むに至つたので、組合員一同よりは信認失はざる吾らの幹部だと稱讚されて只管組合の向上發達の爲めに努力し來たつたのである、然るに滿腔の信認を寄せたる現組合幹部某々等は組合員の信認を裏切り**獨斷專行**の振舞ひ多く今回果しなくも、築港請負に絡まり奇怪極まる事實を曝露するに至り豐間區民擧げて、同幹部排擊の幕は切つて落されやうとしてゐる。

## 組合の決議を無視
## 指定入札をなす
### 幹部等江口氏に
### 於谷口樓に饗應を受く

今回豐間漁業組合幹部の暴露したる奇怪なる行爲として區民より疑はるに至つた事實は**其裏面に**收賄の行爲あるに非ずやとの疑惑を招く迄に當然其事實を肯定せねばならぬ節々あるを遺憾とするが、其依つて來る原因を辿るに、豐間漁港擴張工事の申請に關し當局は去る七月認可を與ふるに至つたので、組合は總會を開き、指定、競爭請負何れかの入札をなすべきかの協議をなしたが**滿場一致**競爭入札で、更に組合及び築港期成同盟會、區有志集合して競爭入札を江口忠一、鈴木仙松兩氏に決定したのである、然るに組合幹部は獨斷專行にも協議決定を裏切り江口忠一氏に指名入札をなすに至つたので、築港期成同盟會及び區民の**激昂する**所となり幹部の處置を糾斷して目下大紛擾を來してゐる狀態であるが、ひそかに江口氏に指命入札をなすに至つた經路を見るに、縣築港監督技師谷川氏と共に幹部一同は夜半貸切自動車に同乘し平町の江口氏宅を訪ね、指名入札に關して或種の默契をなし**谷川技師**の工事豫算二萬圓に對し、江口氏の工事豫算は一萬九千九百八十圓の豫算額に幹部は是れに承認を與へ、同夜直ちに江口氏に指定する事に決したのである、而して谷技師幹部一同は、谷口樓に於て、强たか饗應を受け歸村した事實が區民及び**組合員の**知る所となり、幹部に對する糾彈甚しく、組合幹部と組合員及區民の拮抗猛烈となり幹部等も亦己れ等のなしたる處置に窮し、野崎縣議に泣きを入れ妥協方を依賴するに至つたのである。

## 江口氏にやらせねば
## 工事は中止しろ
### 幹部等の暴論
### 其の裏面や怪しむ可し

豐間區の正義派は獨斷專恣至らざるなき組合幹部の處置に對し、毎夜鳩集熟議をこらし**其善後策**を講じつゝあるが、幹部某等は頻りに江名出身の請負業者鈴木仙松氏を非難し、江口氏に築港工事を請負はしめざるに於ては築港工事は中止にすべしとの暴論を吐くに至り、其裏面を檢討する時區民一同より其間贈收賄の事實あるにあらずやとの疑惑を呼び起すも當然なりと**見られて**ゐる、組合幹部は何故に人格的にして其手腕を認められてゐる鈴木仙松氏を非難し、江口氏に請負はしめねば工事を中止すべしとの迷論を吐くか、而かも暗夜ひそかに江口氏宅を訪れ獨斷にも指名入札に決し而かも谷口樓に於て饗應を受けたか、其間實に**いまはし**き醜事實の伏在するに非らずやとの疑惑を濃厚ならしむるものがあるではないか、是れ等に關しては次號に於て詳細に事實の報道をなし一般讀者の批判を乞ふ事にする。

## 投書
### 果して事實か？
### 江口氏に對する

豐間漁港擴張工事に關し江口氏同組合幹部との間に或種の疑を呼び起すに至り豐間區民間に一大紛擾を來してゐる事實は如上の如くであるが、大要左の如き投書があつたから揭げる

『江口氏の請負關係で問題を惹起するのは單に豐間築港工事ばかりでなく湯本水道問題、大久村道路問題にも、是に類似した問題が起つてゐる、こふした事は、或は江口氏の請負工事を引受ける爲めの慣用手段かも知れぬ貴紙の明白なる事實の報道を望む云々』

クスリは
山野邊藥局
に……限……る
平町五丁目

## 四倉築港問題
## 圓滿解決
### 同町の前途喜ぶべし

四倉築港修築に關する町營魚市場設置問題に關しては町當局と漁業組合との妥協つかず紛糾を來し、新妻町長及び町會議員一同は穩當なる妥協をなすべく、日夜奔走中であつたが、四倉築港の豫算が昭和七年度豫算に計上されぬ破目に陷るので去る十三日急施町會を開き仲裁の勞をとつてゐた鈴木善次郎、佐藤宇三郎、古河定兵衛の各氏外二十八名の出席を乞ひ協議の結果双方讓步したる條件で圓滿に解決したので、新妻町長は直ちに出縣報告する所があつた菅波助役は

『町長其他の有志各位の熱誠なる努力で漸く解決したのは誠に喜ばしき次第である、今後は町民一致して修築工事完成の爲めに努力したいものである滿悅の態である』

### 妥協案

四倉漁港修築費寄附に關する件は漁港修築工事完成後廻船より生ずる水揚步金として廻船魚獲高の百分の一分五厘を工事完成後十五ヶ年間漁業組合より町に寄附し其後は廻船漁獲高の百分の一を永久に町に寄附するものとす。

## 芹澤商會
## 日に發展
### 組合から信望篤し

芹澤自動車商會主芹澤正忠氏は八臺の自動車を有し常に自動車組合の幹部として組合の向上發達のために努力し、同業者間からの信望あり、殊に技術卓越して其運轉の如きは芹澤氏獨特の技術を有してゐる目下八臺の自動車を操縱してゐるが同商會の發展に連れ不足を來し近く自動車の購入をなすべしと。

## 豐間村長後任
## 問題の人で噂とりどり
### 一說には鈴木現助役
### 或は遠藤仙右エ門氏か

石城の名物男として、名村長として知られた豐間村長**志賀兼吉**氏は過般病魔に冒され遂に長逝したが目下同村有志間に於て後任村長の物色の爲めよりより協議中であるが、一部の有志間には現助役鈴木藤次郎氏を昇格せしむ可しとの主張する向もある鈴木助役を永遠に豐間村政に參與せしむる爲には助役として今一期だけ其手腕を自由に發揮せしめ次期改選に待つても遲くはないとの說もある又一說には**元郡議と**して溫厚篤實、村民の信望を一身に荷つてゐる遠藤仙右エ門氏を起用するは最も當を得たものとして、同氏を動かそうとする一派もある、出やう如何によつては遠藤氏も決して辭するものでもあるまい、尙同村現時の多難の秋に際し、元村長として本村改發の爲めに其基礎をなした**現回春園**書記鈴木友治氏を動かしてはどうかとの說もあるが、この說は本村の平和を確保する爲を念とする人々の間に主張されてゐるが、同氏は此の說には耳を傾けそうもないから結局鈴木助役、遠藤仙右エ門兩氏の中に決定するであらうと見られてゐる。

## 小田炭礦で
## 賃金値上
### 勞働者の福音

好間村の水沒廢坑となつてゐた元古河炭礦舊元山坑は同村**小田吉次**氏が復活すべく豫て私費を投じて排水に努めつゝあつた結果今回漸く採炭可能となつたので去る十五日から從業員一同に對して總花的に賃金値上げを行ふことゝなつたので不況の折柄坑夫一同は大喜びである。

## 清酒品評會
## 本郡より入選
### 奧羽六縣聯合

仙臺市に過般開催された奧羽六縣清酒品評會に於て本郡から入選したものは左の如くである

▲二等（三點）三等（二點）福鶴高久村本間佐源次▲二等（一點）三等（三點）小錦高久村鈴木喜太郎▲三等（二點）白馬雪平窪村松本德一

# 医師果して仁術なりや

◆こう世の中が不景氣になつては下層社會に息きづいてゐる人々たちは其の糧にさい、さし迫る今日だから一度病氣にでも冒されると醫藥の費にも窮せねばならぬといふ惑れな狀態である最近大變無料診斷などゝ流行り出した、之も至極結構ではあるが、不健康で而かも急病に取りつかれてゐる貧患に對しては無料施療などといふ看板の掲げてゐないのが一寸不思議である

◆ところで醫師は果して仁術なりやなんていふ事を言ひたくなるやうな事實がチョイ〳〵耳にするを遺憾とする、中には全く獻身的に貧患に對しては利害を度外に「貧患無料診察」といふ看板を掲げずとも其實に於て無料診察を施してゐる醫師もある、斯に於て醫は仁術なりといふ言葉も有難くなる譯だ、が醫師は果して仁術なりやなんて疑はしくなるお醫者様もあるんだから。

◆堂々たる伽藍の或大病院の如きは宣傳に浮身をやつして、無料診察なんて言つてゐるが、其の裏面では患者泣かせする程左樣にボル大病院もある。

◆醫は仁術なりといふ言葉の通り貧患をいたはつてゐる醫師は記者の知る範圍では先づ（藤沼）（大森）（高久）（市原）（川井）近郷で（泉の佐藤）（小名の久保田）（四倉の額賀）の諸先生である、川井院長始め副院長に至るまで、貧患に對する其いたはり方は至れり盡せりだ、醫は仁術なりとはこの先生等にのみ當てはまる美い言葉なのであらう

◆或病院に急病の子供を抱いて玄關に診察を乞ふと先生すましたもので、商人と駈引きに一生懸命、病兒を抱いてホロ〳〵として玄關に立つてゐる憫れな母の心はどんなであつたらう、其母憤慨やる方なく、急病の子供を抱いて漸く大森先生の診察によつて一命を取り止めたといふ話これでも醫師は果して仁術なりかイつて、言ひたくなるよ、

◆又或先生の處では、一度診察して、水藥を盛つたが金は後だと聽いて、折角調劑した水藥を、ゴトゴトと音を立てゝあけてしまつたといふやうな、ウソのやうな事實もあるから、記者もヨソ事乍ら慨嘆久ふしてこの欄を特設したまでだ。（この種の投書をドシ〳〵送れ）

## 實績を擧ぐ 小林所長の努力

### 豪放磊落にして 常に公平無私の人

土木事業の振興は其地方の盛衰に至大の影響あることは言ふ迄もないが、本縣下に於て大郡と見られてゐるだけに、土木事業は可成り廣凡に施行されねばならぬ從つて、平監督所長小林清吉氏の骨折りは並大底の努力ではない、小林所長赴任以來石城地方の土木事業は次第に完成の域に達し其實績はまだ嘗て見ざる迄に進捗し一般からの信認を寄せられてゐる、過般水害に際し同所長は直ちに其損害高を調査して復舊方針を確立した點は上下等しく認むる所である、小林氏は豪放磊落公平無私にして常に草鞋脚絆で地方の視察に赴き土木事業の完壁を期すべく餘念がない、

## 圓轉滑達の人 片倉平所長 辰野賢造氏

### 同社の基礎を確立す

磐城片倉製糸株式會社平製糸工場長辰野賢造氏赴任以來一般從業員は勿論石城地方取引關係者よりの信望頗る篤く、同氏赴任以來一般の實績を擧げてゐる、同氏は頗る圓轉滑達にして、公平無私の人格若にして殊に女工等に對しては努めて優遇の途を講じ從業員よりはわれらのおやじさしてあがめられてゐる、同所長の在任中は、必ずや磐城製糸の向上發展の基礎を確立するであらうと、期待されてゐる、

## 同業消息

□磐城之實業の大和田興平氏は近くポイント活字と輪轉機を大和田印刷所に据ゑ付け、平の活版界をアット言はせる仕組み目下準備中、そんなものはドコカラ持つて來たときゝたくば、何れ磐城之實業紙上で發表するであらうから。

□新いわきの半谷氏は同紙を飽迄盛り立てねば死んでも浮れぬと大馬力の努力、それでも英雄閑日月ありとでもいふか、最近へウタン一箇を手に入れ近く紅葉狩りに……落葉を掻き集めて、ヘウタンを温めるといふ風流振り

□いわき新報の高木喬君煤煙せめで閉口してゐた白銀の家を引拂つて日當りのいゝ新川邊りの新しい家に轉居、子供の顏色が遙[illegible]によくな[illegible]と大喜び、いゝお父さんらしい顏つきで朝から晩まではねまはつてゐる。

□磐城經濟の默鐘君最近オカシナ女を家に引き入れたといふので兄貴の佐藤さんからウントしかられたが、アレかいアレは月給三圓宛呉れて傭つた家政婦なんですと釋明、後で默鐘君友人に語つて曰く、俺の家にきてくれる女は、何れオカシナ女でなくてはきて呉れやしない……といとも明朗な氣持ち、この默鐘君朗戀にもめぐまれず、オカシナ女を家政婦として、何事かを策してゐる、默鐘君の氣持ち知る人や入る。

□大衆の長谷川君シャナリ〳〵と着流しで年賀廣告などは當てにはしないと毎日實銀でゴモク並べ近く居酒屋を始めるそうな

□磐城民論社長酒谷磐泉氏は、努力主義の人として知られてゐる人だけに朝は早く、夜は晩くまで[illegible]きまはつてゐる、時に聚樂園に一日の閑遊を試みるもつて唯一の娛樂としてゐる。

□磐城中正の安澤老、ソロ〳〵年賀廣告の募集を開始、全く不景氣でイヤハヤ問題ではゴザラヌワイなんて悲觀してゐるがごうして懷ろ具合はナカナカ溫いものだとの話。

□平新報の山野邊庄吉君最近理想の家に轉居、家庭も頗る圓滿、社の基礎を計るべく寧日なき有樣來る新年號は相變らず賑やかな編輯を見せるであらう。

□茨城日報支局主任は純情の男、有聲座に生駒雷遊木村時子一行の來演した三日目の晩、銘仙のドテラを着流して風流の姿ドコの旅の紳士かと見れば豈計らんや茨城日報の主任さん、寒いと思つてきて見たら、トテモ暑くてたまらんワイ汗を拭き乍らレヴユーに見とれてゐる、ナン[illegible]可愛らしい邪氣の無い殿子であらう。

內科、外科、婦人科、小兒科
野村醫院
双葉郡廣野村

久保田醫院
小名濱町

讀書子の忠實な番頭
書籍、雜誌、文房具
マルトモ 柴田書店
平町四丁目　電話二三四・五九七番

內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科
高久病院
平町田町　電話五一三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑師　佐竹菊雄

和洋銅鐵金物問屋
釜屋商店
平・五　電話九番九九番
三井生命保險株式會社平代理店
諸橋久太郎

（共濟病院）
輕費診療案內
郡內卅四ケ町村の囑託により輕費診療をなしつゝあります
診療科目　內科、小兒科、外科、性病科皮膚科產婦人科物理療科、耳鼻咽喉科、X光線科
診察料　共濟會員　無料　輕費診療　五十錢
藥價　一種一日分　共濟會員　十錢　輕費診療　十五錢
入院料　一日分　共濟會員經費診療　一圓以上
院長　醫學博士　石山謙郎
本院主幹　賀澤忠治
衛生試驗　醫化學的檢査は何でも致します遠慮なく御利用下さい
公休日は廢しました
尚御不明ノ點ハ各町村長並ニ本院ニテ御遠慮ナク御聽キ下サイ
磐城平町共濟會　電話四六一番

內、外科 小兒科
一般
佐藤醫院
院長　佐藤直信
常磐線[illegible]驛前　電話一四番